

平成30年1月18日

輸送動向について（平成29年度第3-四半期）

1. 輸送概況

第3-四半期は、10月の台風21号接近、12月の東海道線輸送障害、東北・北海道地区での強風の影響等により、全体で高速貨403本、専貨18本が運休した（前年同期間は、高速貨155本、専貨6本が運休）。9月の台風18号の接近以来、不通となっていた日豊線は、12月18日に運転再開となり、復旧までの間トラックによる代行輸送を実施した。

コンテナは、積合せ貨物がドライバー不足を背景に東海・九州地区間等の中長距離帯での利用が増加した。自動車部品は10月中旬以降に関東・九州地区間での荷量減があったものの、東海地区発が好調となった。また、エコ関連物資では建設発生土が堅調に推移したほか、食料工業品ではビール・菓子が順調に推移し、さらに化学薬品も前年を上回った。

一方、紙・パルプが印刷紙・コート紙の需要減少に伴い、大幅な減送となった。化学工業品が日豊線不通の影響等により、前年を下回り、家電・情報機器も低調な発送となった。その結果、コンテナ全体では前年比101.5%となった。

車扱は、石油が10月以降に新規利用が開始したことや配送圏の見直しに伴い鉄道へのシフトが進んだことから、好調に推移した。一方、セメント・石灰石は需要減少等により低調となった。その結果、車扱全体では前年比103.8%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比102.2%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	3-四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,946	5,859	101.5%
車扱	2,551	2,458	103.8%
合計	8,497	8,317	102.2%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	648	648	0	100.0%
	化学工業品	541	548	-7	98.7%
	化学薬品	394	385	9	102.3%
	食料工業品	970	963	7	100.7%
	紙・パルプ	789	805	-16	98.0%
	他工業品	403	399	4	101.1%
	積合せ貨物	766	722	44	106.1%
	自動車部品	220	204	16	108.0%
	家電・情報機器	109	113	-4	97.1%
	エコ関連物資	128	117	11	109.7%
	その他	977	955	22	102.3%
	コンテナ計	5,946	5,859	87	101.5%
車扱	石油	1,775	1,676	99	105.9%
	セメント・石灰石	351	359	-8	97.5%
	車両	244	243	1	100.5%
	その他	181	179	2	100.8%
		車扱計	2,551	2,458	93
	合計	8,497	8,317	180	102.2%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）